

報道関係各位

平成29年5月17日

高校生以上の学生対象・がん検診でがんの早期発見を訴える

第5回がん征圧ポスターデザインコンテスト 沖縄県立芸術大学 勝森彩香さんの作品が最優秀賞

最優秀賞

勝森彩香さん(沖縄県立芸術大学2年)『この人は嘘をついています』

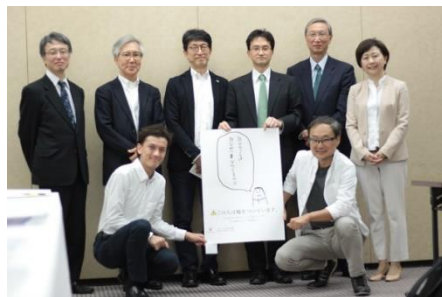


【作品説明】

がんは自分が気付かないうちに進行している。これを伝えるために、がん検診にいかないガンコな人が言いそうなセリフを考えました。イラストとセリフのラフなタッチと注意書きの緊張感で、2つのギャップを持たせて、見ている人に興味を持ってもらおうと思い、デザインしました。

審査員 本田亮先生の講評

がん検診に行かない人の気持ちを肩の力を抜いて表現し、キャッチコピーで「嘘」という強い言葉を使って真っ向否定する構成が見事。がん検診を推奨する専門家も納得した作品で、きわめてシンプルな作りだが、イラストの味わいやアイコンの使い方など、デザインの基礎力があるのに、あえてそぎ落としていることを感じる。



審査会で最優秀賞作品を囲む審査員

高校生以上の学生を対象に公募した「第5回がん征圧ポスターデザインコンテスト」の入賞作品(最優秀賞1点、優秀賞3点、入選11点)が決定しました。このコンテストは、若い世代に「がん」や「がん検診」について知ってもらい、新鮮な発想でがん検診の受診を呼びかけるポスターを作成することを目的に開催しました。

最優秀賞の勝森彩香さん(沖縄県立芸術大学2年生)の作品は、シンプルなデザインのなかに、味のあるイラストや注意を引く効果的なアイコンの配置、キャッチコピーの工夫など、審査員全員から高く評価されました。

優秀賞は、赤嶺嘉朗太さん(那覇情報システム専門学校2年生)、大賀愛子さん(金沢美術工芸大学2年生)、岡庭秀晃さん(長岡造形大学2年生)に決定しました。また、今年度から、最終選考に残った12作品を「入選」として発表いたします。

※学年は2017年3月の応募当時

最優秀賞の作品はポスターにして、全国の自治体、保健所、病院などで約5万部掲示される予定です。

詳しくは「がん征圧ポスターコンテスト 公式サイト」(<http://www.jcsposter.com/>)をご覧ください

※学年は2017年3月の応募当時



赤嶺嘉朗太さん(那覇情報システム専門学校2年) 『ステージ』

がん検診を行うことで、避けられるかもしれない人生の「ステージ」があるのを周知してもらうことが目的です。

【講評】

極めて完成度の高い作品だと感じた。がんの進行度合いを表す「ステージ」を、舞台の「ステージ」に重ね合わせ、スポットライトを当てているビジュアルに大人のユーモアを感じた。大胆にブルーで統一したデザインもインパクトがある。最後まで最優秀賞作品と争ったが、わずかな得票の差は人間の温もりの差にあったように思う。



大賀愛子さん(金沢美術工芸大学2年) 『検診 行く行く詐欺』

つつい後回しにしてしまいがちながん検診。受診を促されても優先順位が高くないため「うんうん、行くよ～」と返事をするだけで受け流してしまいがちだと思います。そんな人たちに注意喚起をするとともに、がん検診を多くの人に受けてもらえるようなポスターを目指しました。

【講評】

審査員からも「こういう会話、よくあるよね」と多くの共感があった。「行く行く詐欺」という言葉も軽妙でユーモアがある。日常会話の中でがん検診を促した目のつけどころも良い。親しみやすくわかりやすいビジュアルを採用している分、デザイン的にシャープに引き締める部分があっても良かったのではないかと思います。



岡庭秀晃さん(長岡造形大学2年) 『癌はスマホじゃわからない』

現代の人たちは分からないことがあるとなんでもスマホで調べようとします。しかし、癌はスマホで調べることができません。普段便利だと思って使っているスマホでも、できないことはあるということに気がついてもらい、がん検診に行ってもらえるのではないかと思います。

【講評】

多くの応募作品の中で、ただ一つのユニークな発想だった、現代社会の中で万能だと思われるスマホ検索をチクリと批評しつつ、実際行動に移すことの大切さをアピールした視点は面白い。黒をベースにしたデザインもがんを連想させ、シンプルで力強い。受けコピーがパロディではなく、自分の表現になると良くなったと思う。

入選

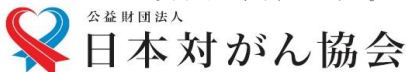
(敬称略・順不同)

<応募者>
高校生・高等専門学校生・専門学校生・短大生・大学生・大学院生
<募集期間>
2017年2月1日～3月31日
<応募者数/作品総数>
53名/65作品

大和田 なるみ	日本大学 芸術学部	悪性新生物
町田 幸乃	桐生大学短期大学部	早期発見
吉村 淳	愛知県立芸術大学	ご自慢の健康なカラダ
嘉味田 隼一	沖縄県立芸術大学	のんびり長生きしたいから
榎山大樹/内木崇博	広告デザイン専門学校	大人のためのがん検診講座
中村 友香	日本大学 芸術学部	早期発見、ありがとう
大和田 なるみ	日本大学 芸術学部	知ること
櫻井 麻美	静岡産業技術専門学校	愛しているからこそ言うべき言葉
小山田 乃英	日本大学 芸術学部	がんナメとったら痛い目みるで。
坂倉 ひかる	日本大学 芸術学部	完成するまえに…
横田 かおり	京都女子高等学校	見えるところ、だけじゃない。
大賀 愛子	金沢美術工芸大学	本当に健康?

がんには負けない社会をつくる。

公益財団法人



本件に関するお問い合わせは下記にお願いします

■公益財団法人日本対がん協会 広報グループ

(Tel: 03-5218-4771)